KANAGAWA
看護だより

Vol.160
2015年1月

公益社団法人
神奈川県看護協会
〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901㈹ FAX.045-263-2905
http://www.kana-kango.or.jp/

平成26年度 会員数 34,558人

▲看護部院内教育システムクリニカルラダーのリーダーシップ研修

中央林間じんクリニック
イケメン!? スタッフと院長

手術室の美人三姉妹!?

病院の顔、外来スタッフと院長でハイポーズ!

▲RUN伴 2014年
地域のイベントに
参加しました

【今月の表紙】
医療法人社団 三栄会 中央林間病院

➡施設の紹介は12ページに掲載しています

CONTENTS

新春に寄せて……2
スペシャリストが行く
「手術看護認定看護師」……3
会員がおすすめする
「私のお気に入りスポット」……4～5
目からウロコのお役立ち情報
「健康診断のすすめ」……6
災害看護 PART10……7
特集「第45回日本看護学会―急性期看護―学術集会」開催報告……8～9
役員の推薦及び立候補について／
理事会報告……10
会員読者お年玉プレゼント／
私のヒーリングタイム……11
こんにちは事務局です／表紙の写真／
編集後記……12

新春に寄せて…

「看護を取り巻く変化の時、社会の期待に応えられる看護を」

公益社団法人神奈川県看護協会会長　篠原　弘子

平成27年の新春を迎え、心よりお慶びを申し上げます。

旧年中は、神奈川県看護協会の事業運営に対し、各方面から温かいご支援とご協力を頂きましたことに、改めて御礼を申し上げます。また昨年10月23，24日には、日本看護学会急性期看護学術集会を開催県看護協会として盛会裏に開催することができました。これもひとえに、企画準備の段階から当日の運営に至るまで、会員の皆様からの一致結束したご協力と、関係の皆様からのご支援の賜物と、深く感謝を申し上げます。

離職時ナースセンターへの届出努力義務化、地域医療の充実で役割拡大

さて、昨年6月18日に成立しました「医療・介護総合確保推進法」では、私たち保健医療福祉分野に携わる立場にとって、様々な重要課題が提起されました。本年はそれぞれの施策がいよいよ実行・実現に移され、大きな変化の時を迎えることになります。

看護関連では、団塊の世代が後期高齢者となり75歳以上が全人口の2割に達することが予測される2025年に備えて、一層の看護職人材確保のために、看護師等免許保持者の離職時ナースセンターへの届出制度を創設、届出が努力義務となります。離職者の把握と、効果的・総合的な復職支援によって潜在化を防ぐ重要な役割を担っていくことになるナースセンターは、更なる機能の強化と充実が求められます。

また、地域包括ケアシステムの構築に伴う地域医療の充実と推進においては、「特定行為に係る看護師の研修制度」の創設が盛り込まれ、制度の運用について詳細な検討が行われています。「病院から地域在宅へ」の流れの中で、看護職の果たすべき役割がさらに拡大され、それに伴う責任も重大になってきます。

人々が病気や障害をもちながらも、その人らしさを尊重した生活が送れるよう支える医療のあり方、すなわち、「人々の健康と暮らしを支える」ために、少子超高齢社会の中で生きる人々の医療介護ニーズに添う新たな医療提供体制の構築と、地域包括ケアシステムにおける多職種協働体制の構築が最重要課題となっています。

人々の生活を支えるための地域課題を視野に質の高い看護を！

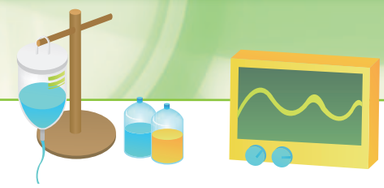
これからの看護職には、現在の自身の立ち位置を改めて確認するとともに、看護の専門性を通してその役割と責任を果たしていくことはもちろん、それと同時に、人々の生活を支えるための地域課題を視野に、「病院から地域在宅へ」、あるいは必要時「地域在宅から病院へ」の円滑な行き来が可能となるよう、切れ目のない支援が期待されています。働く領域に係わらず、多様な場で、あらゆる人々に対し、質の高い看護を提供でき、社会の期待に応えられる看護の資質と能力が求められます。看護を取り巻く大きな変化の時を迎え、私たち自身は今、しなやかな意識の転換が求められているのではないかと思います。

当協会は、今後も社会の変化を俯瞰しつつ、迅速かつ柔軟に対応し、看護職の資質向上と役割発揮をあらゆる側面から積極的に支援していきたいと、心を新たにしています。

おかげさまで、当協会は、27年度に法人設立30周年を迎えます。会員数も前年比約800人増の34,000人を超えました。組織規模の拡大とともに、専門職能団体として事業運営の更なる充実を図り、会員の皆様と力を合せて、地域の健康と福祉に貢献してまいります。

スペシャリストが行く！ Activity of specialist

手術看護認定看護師



手術室という閉ざされた空間で安全で質の高い医療を提供

横浜労災病院
手術看護認定看護師　菅原　知恵子

認定資格を取ることになったいきさつ

医療は日々進歩し、私が新人であった十数年前と比較し、手術や麻酔の方法も変化を遂げています。学会や研修に参加し自己研鑽をしてはいるものの、新人に基礎から教えるためには自分自身が最新の基礎知識を習得する必要があると思い、認定看護師教育センターの受験を決意しました。教育センターでは講義だけでなくグループワークや実習なども多く、たくさんのことを学びました。自主的かつ意欲的に学びたいと思う仲間と共に半年間を過ごし2010年手術看護認定看護師の資格を取得することができました。悩みや相談に乗ってもらえる全国の認定看護師の仲間は、私にとって大きな財産となっています。

日々の活動

普段はスタッフのロールモデル※1となるべく、器械出しや外回り看護を行っています。

また、スタッフの知識・技術向上のための勉強会やケース・記録のカンファレンスを開催しています。新しい手術が導入される際には、診療科医師との打ち合わせを行い、器械や衛生材料の準備、マニュアルの作成、担当看護師と共に手術に入りサポートなどを行っています。診療科カンファレンスや、医師も含めた特殊体位のシミュレーションも行っています。手術室内で働く委託業者に対しても勉強会を開催するなど、チームの一員としての連携を図っています。週1日の活動日を利用して、病棟看護師に対しての研修や、他分野の認定看護師と協力して感染対策や安全対策にも取り組んでいます。

院外活動として、看護学校の講師や企業開催のセミナー講師、執筆活動なども行っています。神奈川県内には現在16人の手術看護認定看護師がいますが、認定看護師のいない施設が多いのが現状です。県内の手術室のある施設全体の看護の質向上が図れるよう、手術看護認定看護師の仲間と共に県内の手術室看護師を対象としたセミナーも開催しています。

スペシャリストとしての思い

手術室という閉ざされた空間の中で行われている看護ですが、開かれた看護となるよう、これからも周術期看護※2を広めていきたいと思っています。

手術には様々な職種が関わるため、手術室ほどチーム医療が求められる現場はないと思います。病棟看護師や診療科医師、麻酔科医師、臨床工学技士など多くの職種との協力が必要不可欠です。その核となり様々な職種の橋渡しを行うのが手術室看護師の役目だと考えています。手術を受ける患者さんに安全で質の高い医療を常に提供できるよう、良好な周術期管理チームを作っていきたいと思っています。

※1　ロールモデル：具体的な行動や考え方の模範となる人物
※2　周術期看護：術前、術中、術後の3段階で対応する看護

手術室の仲間の皆さん

会員がおすすめする 私のお気に入りスポット

魅力いっぱい 神奈川

横浜市青葉区

息子も大好き

こどもの国

国家公務員共済組合連合会
横須賀共済病院
看護師 **今成 江里子**

私と息子のお気に入りの場所は、横浜市にある「こどもの国」です。

正門を入ると目の前に広がるのは息子の大好きなアスレチックの遊具です。ここには全長110mの横浜市で1番長いローラー滑り台があり、一気に滑り降りると迫力があります。アスレチックで遊んだ後は、芝生でお弁当を食べたり、ゴローンと寝転がったりしてのんびりと過ごします。

牧場もあり、うさぎやモルモットなどの小動物と触れ合えたり、馬にエサをあげたりもできます。恐がりの息子もビクビクしながら馬にニンジンをあげて喜んでいます。

他にもサイクリングコース（小学生未満は大人の自転車の後ろに乗ります）、ぶらぶら揺れるつり橋、夏には水遊びができる人工の川など子どもも大人も一緒になって楽しむことができます。「思いっきり子どもと遊んで、緑に癒されて、また頑張ろう！」と思える私のお気に入りの場所です。

ニンジンは
うまいなあ！

猛スピードでダッシュ！

藤沢市

自分に活力を与えてくれる海

江ノ島

東海大学医学部附属大磯病院
看護師 **関野 啓介**

私は現在 ICU・CCU 病棟で看護師をしています。海沿いの病院であるためか、職場には波乗り仲間も数多く、休みがあう時には湘南へ波乗りに出かけます。

中でも、私が一番大好きな海は江ノ島の海です。江ノ島の沿岸はサーフィンをはじめとして、シーカヤックやアウトリガーカヌー、スタンドアップパドルサーフィンなど様々なアクティビティが存在します。それらを実際に体験することで、「明日からまた仕事を頑張ろう」という気持ちにさせてくれます。

江ノ島近辺には BBQ（バーベキュー）ができるお店が何件かあり、海上がりに仲間と BBQ を楽しむのも最高です。ぜひ一度足を運んでみてください。

波乗り

浜辺で

相模原市中央区

夢は広がる

宇宙科学研究所

総合相模更生病院
看護師 **伊藤 美保**

相模原市にある宇宙科学研究所は、みなさんが一度は耳にしたことがある小惑星探査機「はやぶさ」を開発した施設で、施設内は気軽に見学をすることができます。

門衛所で受付をして中へ入るとロケットの実機模型が展示してあり、とても大きく迫力があります。展示室には打ち上げが予定されている「はやぶさ2」の実物大模型があり、横の図書室には宇宙に関する本が並んでいます。

本命の食堂は、一般客も利用でき、野菜ソムリエおすすめのメニューや宇宙をイメージしたランチプレートなどお手軽な価格で楽しむことができます。売店には宇宙食の自動販売機や宇宙服を来た人形のストラップなど、お土産選びに迷ってしまう品数が揃っています。

また施設周囲のエリアには、プラネタリウムを鑑賞できる博物館や夏はプール、冬はスケート場になる銀河アリーナなど子供から大人まで１日楽しめるスポットです。

「はやぶさ2」の
実物模型

ロケットの実機模型

宇宙をイメージした
ランチプレート

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

健康診断のすすめ

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は、健康診断のすすめについて、独立行政法人　地域医療機能推進機構相模野病院　健康管理センター保健師　深谷登起子さんにお聞きしました。

健診結果を健康管理に活用していますか?

健康診断の重要性

みなさんは、年1回健康診断を受けていますか？自分では健康だと思っていても、気づかないうちに病気がじわじわと進行している場合があります。特に、日本人の死亡原因の50%以上を占めるがん、心臓病、脳卒中をはじめとする生活習慣病は、初期の段階では症状がほとんどないことが多く、気づいた時には進行していることも少なくありません。そのため、年1回健康診断を受け、自分の健康は自分で管理するようにしましょう。

病気の予防対策には、健康を増進し発病を予防する一次予防と、病気を早期発見し早期治療を目的とする二次予防があります。健康診断は、以前は、がん検診に代表されるように二次予防を目的として実施されていました。しかし、平成20年度より一次予防を目的とした特定健診･特定保健指導が始まり、生活習慣を改善することにより、病気の発症そのものを予防するという考え方が重視されるようになってきました。

健診結果を健康管理に活かすポイント

1. 『要受診』や『要治療』､『要精検』の判定項目は、必ず受診するようにしましょう。『要精検』というのは、疑わしい点があるのでもう少し詳しく調べてみましょうということです。病気があると診断されたわけではありません。しかし、そのまま放置しておくと、万が一何か病気だった場合、手遅れになってしまう危険性も考えられます。医療機関を受診し、医師の指示に従いきちんと検査を受けましょう。
2. 自分の基準値を知っておきましょう。検査の基準値というのは、健康な人の95%が含まれる値のことです。検査値には、かなり個人差があります。ただし、個人差の大きな検査値でも、その人個人の健康な時の値は大体決まっています。毎年、健康診断を受けて自分の基準値を知ることが大切です。
3. 健診結果をもとに、積極的に生活習慣の改善に取り組みましょう。前回の検査値と比べて今回はどう変わったのか検査値の変化をチェックし、自分の生活を見直すきっかけにしましょう。
4. なるべく､毎年､同じ医療機関で健康診断を受けましょう。医療機関により検査の基準値が異なることがあるため、同じ検査値でも判定が変わることがあります。注意しましょう。
5. 家庭医やかかりつけ医にも健診結果を報告しましょう。

健診結果は、その時点での健康状態を表しています。そのため、年1回は健康診断を受け、健康状態をチェックしましょう。

災害救護対策委員会 Presents

災害看護

PART 10 最終回

看護管理者の心構え
～受援編～

災害発生時､施設が業務継続可能と判断され看護の外部支援を受ける際､どのような準備が必要か一緒に考えてみましょう。

自施設が被災した場合､マンパワーの確保は重要な問題です。その際外部から災害支援ナースなど人的支援を受けることは､病院機能回復の一助となります。今回は災害支援ナース派遣を要請するために必要な項目とポイントを表に示してみました。発災時を想定して､有事における情報収集やその活用判断､看護体制の整備を行うとともに､支援ナースに対する理解を深めておきましょう。

	項　目	内　容	ポイント
看護体制の整備	情報収集	・看護ニーズの把握	・地域ニーズの把握 ・既存患者のニーズ ・災害傷病者のニーズ
		・資源の把握	・勤務可能スタッフの状況 ・系列施設からの支援 ・資機材、備蓄状況、ライフライン
	情報活用と判断	・情報統合	・統括者配置 ・役割のリストアップ ・人員配置 ・業務整理、優先順位づけ
		・需要と供給のバランス	・不足する資源の明確化 ・SOSの発信
支援ナースの活用	支援ナースの役割とシステムの理解	・災害時支援ネットワークの理解 ・災害支援ナースの役割 ・災害看護の理解	・災害マネージメント研修の参加
	活用に向けた整備		・看護協会との防災訓練への参加 ・災害時支援要請連絡用紙周知 ・担当者の配置

平時より、地域の医療事情や行政の『災害時医療救護体制』を把握し、さらに関連団体との連携を取りながら、災害マニュアルの見直しや整備を行っておきましょう。

編集後記

神奈川県看護協会災害救護対策委員会では､協会員皆様の「災害看護について知りたい」というご希望を受けて、平成22年1月から看護だよりに『災害看護』と題して、災害に関する様々な情報を提供してきました。初回の「災害サイクルをご存知ですか?」に始まり、今回の「管理者の心構え～受援編～』で10回目となりました。災害看護を知るきっかけとなりましたでしょうか。

『災害看護 PART 1～ PART10』は、看護協会ホームページにも掲載しています。

見逃した方は是非ご一読ください。また、災害看護について知りたいことがありましたら看護協会までご連絡ください。

第45回日本看護学会 ―急性期看護― 学術集会
横浜みなとみらいに於いて 盛大に開催される!

開催日：2014年10月23日（木）・24日（金）
会　場：パシフィコ横浜　会議センター

急性期看護の創造と展望
～領域を超えてチームでつなぐ命の和～

昭和42年から開催されている急性期看護領域の学会は、今年で45回目を迎えました。

今年は、これまで10領域あった日本看護学会の領域が7領域に統合再編され、再編後の記念すべき第1回目の急性期看護学会が、この横浜の地で開催されました。

参加者は2日間で4,710名、口演119題・示説291題の発表がありました。基調講演に始まり、特別講演・教育講演・シンポジウム・交流セッションなど、大いに盛り上がりました。

基調講演「急性期看護の展望」

基調講演講師の坂本日本看護協会長

基調講演では、日本看護協会の坂本すが会長から、急性期看護の展望についての講演がありました。ますます高度化専門分化する医療界で、急性期看護においては、これまで以上に専門性が求められているのと同時に、常に患者が住み慣れた地域に帰ることを意識することが重要であるとお話されていました。また、類を見ない超高齢社会を迎えようとしている日本において、現状の医療保険制度では対応することが困難であるといわれています。このような背景から、看護職には、医療機関と地域社会との連携におけるキーパーソンとしての役割と、ケアの管理者としての役割をいっそう期待されているというお話がありました。

シンポジウム「領域を超えて～」

2日目のシンポジウムでは、「領域を超えて、今、急性期看護の質を追求する～急性期のチーム医療に求められる看護の役割～」をテーマに、医療機能別の領域ごとに、集中ケア・周術期・周産期・小児・在宅のシンポジストから、それぞれの急性期看護のチーム医療の現状と課題、そして展望について発表がありました。

どのシンポジストの方々も、看護の質を高め、医療チームの中で看護の専門性を発揮していくために重要なことは、コミュニケーションと調整能力であると話されていました。中でも印象的だったのは、医療者間で患者の情報共有とコミュニケーションを密に行うことで、合併症率が下がったというお話でした。これは、患者の情報を共有することで、異常が早期に発見され、合併症を防ぐことに繋がっているとのことでした。

各職種が高い専門性をもつだけでは、チーム医療は成り立ちません。それぞれの高い専門性が相乗効果をもって発揮されるためには、医療チーム間の密なコミュニケーションと調和が重要です。

この調和をとる役割を担っているのは、看護職であることを改めて認識し、看護職に求められる役割はますます大きくなることを実感しました。

シンポジストの皆さん

バイオリンとフルートのコンサート

歓迎の意味も込め、神奈川が生んだアーティストの曲を演奏し、普段、緊張感の高い現場で看護している参加者の方にとって、癒しのひと時になったのではないでしょうか？

発表者・参加者にインタビューしました

『災害看護』口演での発表を終えた末永さん、藤高さん、君島さん、鍛さん。
「緊張しましたがやっと終わりました。」「研究を深めてこの大きな場で発表できてよかったです。」

神奈川県立循環器呼吸器病センターから参加した、石山さんと相原さんは集中治療室の先輩と後輩です。
（石山さんより）若い看護師が今後発表していけるよう、看護研究や学会の現況を見せたくて誘ってきました。

新潟の看護学生の岩島さんと石田さんは2年次の授業の一環として80人で来ました。
「質疑応答が思ったより緊張した空気じゃないなと思いました。学校の基礎教育ではやらないトリアージやチーム医療を中心に幅広く学びたいです。」

示説発表の藤沢市民病院の発表者（佐々木さん）と共同演者のみなさん。
「質問を通して、私達と同じ悩みや問題点を抱えていることが分かりました。また自分たちの課題が見いだせました。今回の研究が他の病院の力になれるといいです。」

特別講演Ⅱ　「家族の絆」～感謝の気持ちを言葉にしよう～

講師：荒木　由美子 氏

講師の荒木由美子さん

20代から20年間、お義母さんの介護をしてきた荒木さんを支えてきたのは感謝の言葉でした。苦しい日々の中、夫の湯原昌幸さんは毎日「ありがとう」と言葉をかけてくれました。お義母さんにはいつも手を握り、スキンシップをはかっていました。お義母さんは亡くなる前の日、荒木さんのおでこと頬をなでて「長い間ありがとう」と言ってくれました。「つらい時にはつらいと言おう、こんなこと言ってほしいと伝えよう」と言う荒木さんの言葉は胸に深くしみ、涙あり、笑いありの講演でした。

※掲載している写真は、ご本人の了解のもとに掲載しています。

（広報出版委員会　石井美千代　神保京美）

平成27年度公益社団法人神奈川県看護協会

役員の推薦及び立候補について

推薦委員長　西村　八重子

公益社団法人神奈川県看護協会定款第25条に基づき、平成27年度に任期満了となる役員について次のとおり改選します。本協会正会員の中から協会活動を推進する有能な人材を得るため、推薦基準に該当する方をご推薦くださいますようお願いいたします。

【改選役職名及び人員】

役員	人数	役員	人数
会長	1名	看護師職能理事Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域担当）	1名
副会長	2名	准看護師理事	1名
専務理事	1名	川崎支部理事	1名
常務理事	2名	相模原支部理事	1名
保健師職能理事	1名	湘南支部理事	1名
看護師職能理事Ⅰ（病院領域担当）	1名	監事（看護職）	1名

※任期　平成27年6月通常総会終結の時～
　　平成29年6月通常総会終結の時

※届出用紙が必要な場合は、担当までご連絡ください。

[問合せ] 総務課 総務班　平賀　☎045-263-2914

[推薦基準]

○神奈川県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人
○会員歴が3年以上の人
○会員の実情をよく知り、定められた会議に出席して、それを反映できる人
○公益社団法人神奈川県看護協会定款第21条に規定する役員の欠格事由に該当しない人
　なお、推薦していただく方については、再度推薦委員会で協議検討の上、候補者として推薦させていただきます。

[推薦方法]

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に必要事項を記入の上、平成27年2月27日(金)までに推薦委員長に届け出てください。
提出書類：平成27年度役員推薦書
　　平成27年度被推薦承諾書

[立候補の方法]

立候補しようとする方は、正会員5名以上の推薦を受けて、所定の用紙に必要事項を記入の上、平成27年2月27日(金)までに、会長に届け出てください。
提出書類：平成27年度役員立候補届

理事会報告

第3回 | 平成26年10月4日㈯

報告事項

1 日本看護協会理事会・法人会員会について
2 平成27年度要望活動の実施について
3 県・市からの委託事業について
4 看護フェスティバル協賛金について
5 進路相談会について
6 サンリオピューロランド無料招待について
7 日本看護協会の見学について
8 洋光台訪問看護ステーションのコンサルテーションについて
9 県民のための講演会について
10 訪問看護従事者相談窓口について
11 病院協会との情報交換会について
12 会員交流会について
13 研修・学会等について
14 日本看護学会“急性期看護”開催準備進捗状況について
15 平成25年度会計監査の指摘事項に対する措置状況について
16 その他
　看護職の表彰について

意見交換

1 平成27年度神奈川県看護協会事業計画（案）検討について

会員読者の皆さまへ

会員だけの特典よ！どんどん応募してね！

お年玉プレゼント

～この機会に、豪華賞品をゲットしよう！～

神奈川県看護協会より、応募された会員読者の方へ
抽選でお年玉プレゼントを差し上げます。

賞品

1等 30,000円旅行ギフト券 …… 1名様
2等 10,000円全国共通食事券 …… 10名様
3等 5,000円図書カード …… 15名様
4等 3,000円クオカード …… 20名様

注）賞品は選べません。

【送付先】
〒231-0037
横浜市中区富士見町3-1
公益社団法人神奈川県看護協会
広報出版委員会　「お年玉プレゼント」宛
メール：kouhou@kana-kango.or.jp

【締切】
平成27年1月23日（金）必着

【応募方法】
はがき又はメールに　①「お年玉プレゼント希望」②郵便番号・住所　③氏名　④電話番号　⑤会員番号　⑥看護だよりの感想、気に入った記事等　を記載して神奈川県看護協会へお申し込みください。
お申し込みは、はがきかメールどちらか一方のみで、お一人様1回に限らせていただきます。

【抽選・発送】
- 厳正な抽選の上決定し、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- 頂いた個人情報は、賞品の発送のみに使用し、他への転用はいたしません。

毎日をHAPPYにする　私のヒーリングタイム

”ワインを中心に色んな人たちとの交流を”

平塚市民病院
看護師　河合 清美

学生時代から何となくワインを飲みはじめ、「高価な飲み物だから、少しでも知識を得た上で飲みたい。」という思いが募り、ワインスクールに通い始めました。
スクールにはワインに興味のある様々な年齢、職業の方々が通っていました。授業後のワイン会でおいしいレストランからワインのマーケティングまであらゆる情報が飛び交い、どっぷり仕事に浸たっていた私にはとても新鮮でした。
知識の豊富な仲間たちとの交流を積み重ね、今では食事とのマリアージュ※を考えたり、週末に飲むワインを探したりと私生活も楽しみが増えました。旅行で評判のレストランやワイナリーを訪れ、また情報交換し、仲間の輪が広がっていきます。初対面でもワインを通して「今度、そのレストランに一緒に行きましょう。」と自然な形でアドレス交換できる、不思議な魔法を秘めた飲み物だと感じています。信じられない方は、ぜひ試してみてください。

夫婦で乾杯！

※マリアージュ：ワイン用語でワインと料理の組み合わせの意

発行●公益社団法人神奈川県看護協会 〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
発行責任者●篠原弘子 編集●広報出版委員会 印刷●㈱ヨシダプリント
TEL.045-263-2901㈹ FAX.045-263-2905
ホームページアドレス●http://www.kana-kango.or.jp/
メールアドレス●kanakan1@basil.ocn.ne.jp

こんにちは事務局です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

継続・新規入会受付中

- 平成27年度　会員継続申請書（プレプリント版）を11月中旬に発送しました。お手元に届いていない方は、お問い合わせください。
- 継続・入会の申込は、1月中旬までにお手続きすれば、3月中に会員証が届きます。
- 継続・入会申請書は、県看護協会ホームページからも請求できます。

問合せ／総務課 企画・会員班　☎045-263-2918

ナースセンターの登録・検索が🌱かんたん🌱に!

～2015年4月から無料職業紹介システムがリニューアルされます～

かんたん登録
- 登録（求人施設、求職者）に必要な入力項目を大幅に削減
- スマートフォンから登録、検索が可能

かんたん求人検索（求職者の方）
- 求職者には条件に合う施設リストが届く
- 全国の病院に直接応募ができる
- 地図上（Web）から検索できる

問合せ／ナースセンター課　☎045-263-2101（直）

訪問看護師養成講習会のご案内

訪問看護に必要な基本的知識・技術を学んでみませんか。現在、訪問看護に従事している方はもちろん、これから訪問看護を始めようと考えている方もぜひご参加ください。

介護保険施設等看護研修 フォローアップ研修のご案内

日　時／平成27年2月14日（土）9:30 ～ 16:30
テーマ／ー後悔しないケアがしたいー　看取りのプロが伝える施設でのエンド・オブ・ライフケア
※病院勤務の看護職も参加可能です。

上記研修の詳細は、ホームページをご参照ください。
問合せ／地域看護課地域看護班　☎045-263-2933

保健師職能研修会開催のご案内

日　　時／平成27年2月2日（月）　10:00 ～ 16:30
場　　所／神奈川県総合医療会館
内容・講師／
午前　『産業保健の最近の話題と参加者の情報交換』
　　ストレスチェック・・改正労働安全衛生法について　他
　　講師　神奈川産業保健総合支援センター
　　石渡弘一先生（医師）
午後　公開講座『ネット依存の現状と予防』
　　（どなたでも参加可能）
　　講師　久里浜医療センター
　　三原聡子先生（心理療法士）
詳細はホームページをご参照ください。

「平成27年度教育計画・事業説明会」のご案内

平成27年度神奈川県看護協会教育・研修の基本的な考え方をはじめ、教育に関する事業の説明と講演会を企画しております。

日　　時／平成27年2月27日（金）
　　14:00～16:30（受付13:30より）
会　　場／神奈川県ナースセンター研修室
　　（神奈川県総合医療会館5階）
参 加 費／無料
応募方法／往復はがきに①研修名②氏名（フリガナ）③所属施設名④施設内での役割⑤施設電話番号⑥会員・非会員の別（会員番号）をご記入の上お申し込みください。
締　　切／1月30日（金）必着
　　詳細はホームページをご参照ください。
問 合 せ／研修課教育研修班　☎045-263-2926

認定看護管理者教育課程募集のご案内

■ファーストレベル
開講期間／平成27年4月28日（火）～ 9月4日（金）
募集人員／ 70名程度
募集期間／平成27年1月9日（金）～ 1月30日（金）

■セカンドレベル
開講期間／平成27年10月1日（木）～28年3月4日（金）
募集人員／ 35名程度
募集期間／平成27年5月13日（水）～ 5月27日（水）
募集要項は、ホームページからダウンロードしてください。
問 合 せ／研修課認定教育班　☎0466-55-3070

新春のつどいご案内

日　時／平成27年1月22日（木）　18:00～20:00
場　所／横浜ロイヤルパークホテル宴会棟3階　鳳翔の間
会　費／6,000円
問合せ／総務課総務班　☎045-263-2914

表紙の写真

地域と密接につながった急性期医療を提供しています。

――医療法人社団　三栄会
中央林間病院（大和市中央林間）

中央林間病院は、近隣の医療機関および施設との連携を積極的にとり、地域の急性期の医療を担っています。院内ではチーム医療に取り組み、部門間の密な連携により、小回りの利く医療体制を整えています。また2014年からは、地域のニーズにこたえ地域包括ケア病床を持ち運営しています。

看護部では「人間愛を基本にした安心と信頼の看護」をモットーに患者さんの気持ちに寄り添い、あたたかな看護の提供に努めています。経験ある中堅看護師が充実しており経験を生かし、お互いに刺激しあい専門職として自己研鑽につとめています。地域の方々と連携し患者さんが安心して地域で生活できるよう頑張っています。

看護部長　**茂木一美**

編集後記

明けましておめでとうございます。1月号は、会員読者の方を対象に、“お年玉プレゼント”を企画しました。1等をねらって、多数の応募がいただけると嬉しいです。
今年も、皆様のお役に立てる情報をお伝えし、楽しく読んでいただける“広報誌作り”を目指したいと思っております。今年もより良い一年となりますように。　（M.H）